

平成27年 年頭所感

(一社) コンクリートポール・パイル協会
(一社) コンクリートパイル建設技術協会
会長 黒瀬 晃



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、景気回復に関わる経済政策を中心として国家予算の増額が図られ、特に自然災害に対する国土強靱化等を目指した公共事業費などの増額による建設需要の拡大、さらには、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた首都圏での再開発事業、国内産業の設備投資の回復などによって、コンクリートポール・パイルの需要は、増加が期待されたところでありました。

一方では、昨年4月からの消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が懸念されたことから、全体としてのコンクリートパイルの需要予測は、前年度を若干上回る程度とみておりましたが、2月以降の出荷量は、毎月前年同期を下回った状況が続いております。これは、消費税増税による駆け込み需要の反動減、建設資材の高騰、建設機材や人材不足等による着工遅延等による落ち込み、また新築住宅着工戸数の減少や民間設備投資が期待されたほどではないなど、パイルの需要分野において大きな比率を占める民間需要が落ち込んでいるところが主要な要因でないかと思っております。

このため、平成26年のコンクリートパイルの出荷量は、前年を下回るものと見込まれ、日本経済の構造的な改革がなされない限り、今後もしばらくはこのような状況が続くのではないかと考えられます。

このような状況ではありますが、会員各社は自らの英知をもとに不断の努力を重ねていくことが肝要であり、かつ、当業界は建設基礎分野の重要な担い手として、その信頼を確保・向上させて行く社会的使命と責任を有しているとの認識を新たにし、その使命を果たすべく、設計・施工品質及び安全性の向上等に資する取り組みを主要課題として所要の活動を引き続き的確に展開していく所存であります。

以下、両協会の本年の活動方針について申し上げます。

コンクリートポール・パイル協会におきましては、従前と同様に各地区を基盤とした需要拡大活動、機関誌等による広報活動等を中心とした普及啓発事業を積極的に進めて参ります。

需要動向調査活動につきましても、より迅速かつ正確な情報を収集し広く提供させていただきます。

このほか、規格類の作成及び技術開発研究につきましても鋭意進めて参ります。なお、本年は建築学会の建築基礎構造設計指針改定への対応のため、コンクリートパイル建設技術協会と共同してパイルの変形性能に関わる実証実験を行う予定にしております。

これらの事業の推進にあたりましては、経済産業省及び国土交通省等の関係省庁並びに関連団体との連絡、連携を密にして、よりよい事業にしたいと考えております。

コンクリートパイル建設技術協会におきましては、住宅・社会基盤の整備・維持管理・更新等における重要な基礎構造である既製コンクリート杭に関する設計及び施工技術の向上を図り、杭基礎工法の安全性・信頼性の確保は社会的要請であることを強く認識して、その使命を的確に果たして行くことが重要であると考えております。厳しい経済財政状況下ではありますが、住宅・社会資本及び生活・経済産業基盤等の機能を継続的に確保していくためには、技術的な進歩向上が不可欠であります。協会の事業活動等を計画的・効果的な展開を推進していくために定めた中期的な目標(2011-2015年度)の最終年度として、技術力・品質の確保、安全・環境対策の強化、新技術の研究・開発等について、鋭意取り組んで参ります。このため、本年におきましても、設計・施工技術及び品質の確保・向上を図るための調査研究の推進、技術講習会の開催等について、積極的かつ重点的に実施することとしております。また、本年秋には、基礎建設の施工に関してより広範かつ高度な専門的技術能力を有する技術者資格として新たな制度を発足させることとしています。平成24年3月の道路橋示方書改定において適合工法とされたコピタ型プレボーリング杭工法の施工実績は100件近くに達し、土木分野における一層の普及を図るため施工内容等を的確に把握し整理・分析を行うとともに、国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)へ登録する等の取り組みを進めることにしています。さらに、基礎構造として優れた特長を有している高支持力杭工法については、近年施工実績が増大し適用範囲が拡大していることから、本工法の施工管理に関する技術的事項等を統一的に取りまとめたところであり、施工品質の更なる確保・向上に資することとしております。

今後とも、杭基礎構造の設計・施工に関する基準類の改訂や標準化等に係る調査研究の継続、大学及び国の研究機関との共同研究や関係団体等との技術交流を推進すると共に、調査研究成果や技術情報の提供・普及等の事業活動を展開して参ります。

両協会におきましては、現下の厳しい諸情勢を踏まえつつ、各々の課題に積極的に取り組んでまいり所存でありますので、今後とも所管官庁及び関係機関の皆様方のなお一層のご支援とご協力を御願い申し上げます。

最後に皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。